

## 1. 平成29年度事業報告

### I. 経営環境

日本銀行は、「わが国の経済は、緩やかに拡大しており、輸出は増加基調にある。国内需要の面では、設備投資は、企業収益や業況感が改善基調を維持するなかで増加傾向を続けている。個人消費は、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、緩やかに増加している。」と見ています。

観光分野では、昨年の訪日外国人は約2,869万人となり、対前年比19.3%も増加し、今年の1月～3月の訪日客も各月とも過去最高となるなど、好調に伸びています。また、昨年の旅行収支は1兆7,626億円の黒字で、前年から4,360億円増加するなど、過去最高を記録し今後も順調に伸びる見込みです。

長崎県の経済状況については、日本銀行長崎支店は、今年3月の時点で「緩やかな回復を続けている。最終需要面を見ると公共投資は大型案件の発注増等から増加している。設備投資は持ち直しの動きが見られる。個人消費は全体として底堅く推移している。観光関連は基調として堅調に推移している。」と見ています。

また、日本銀行長崎支店が発表した長崎県・企業短期経済観測調査(2018年3月)を見ると、全産業ベースの業況判断 $\uparrow$ 1(「景気が「良い」－「悪い」、%ポイント)がほぼ横ばいで好況感が維持されていますが、運輸業を含む非製造業では、悪化するとみている企業が増えてきています。

観光の面では、一昨年の熊本地震の影響からの回復もあり、昨年は主要宿泊施設の延べ宿泊者数が4,761千人(対前年比2.9%増)、主要観光施設入場者数9,059千人(対前年比4.2%増)となりました。

このような状況の中、当社の観光収入は社員の1名減の影響もあり減収となりましたが、広告収入は、企業努力により大幅に増加しました。

平成29年度の決算は5年ぶりに営業利益、経常利益、当期純利益をとともに出すことができました。

## II. 経営実績

### (1) 全体収支実績

平成29年度の営業収益は213,945千円(対前年比1,846千円の減少、99.1%)、営業費用は211,012千円、(対前年比4,538千円の減少、97.9%)となり、この結果、2,933千円の営業利益が生じました。

さらに、雑収入493千円が発生し、当期利益3,159千円となりました。

### 営業収益、営業費用、営業利益の実績

<u>営業収益</u>	213,944,905円
<u>営業費用</u>	211,012,019円
<u>営業利益</u>	2,932,886円

### 各事業の収入実績

(単位:千円)

事業別	旅行事業	広告事業	売店事業	手荷物	軽食	駐車場
H.27 実績	58,235	34,544	87,280	5,829	2,640	6,263
H.28 実績	59,676	36,042	77,267	5,277	2,640	6,168
H.29 実績	55,806	39,081	39,419	5,749	2,640	6,327
対前年比	93.5%	108.4%	51.0%	108.9%	100.0%	102.6%

(ターミナル業務受託事業を除く)

### (2) 事業別実績

#### (イ) 営業部観光課

旅行事業の斡旋手数料収入は55,806千円で、前年と比較して3,870千円の減少(対前年比93.5%)となりました。

これは、一般団体旅行の取扱高、カウンターの売上が減少したことが主な原因であります。

#### (ロ) 総務部広告課

広告事業の総売上は、39,081千円で、前年と比較して3,039千円の増加(対前年比108.4%)となりました。

これは、昨年度からの長崎県の世界遺産登録推進PRの継続を含め、自社営業によるJAL、ANA、ORCなどの航空会社による販促PRの収益増が最も大きく、また、諫早市観光物産コンベンションのラッピングバス広告の収入も大きな要因であります。

大手クライアント獲得のため、福岡地区の大手広告代理店への営業活動を強化し、また、長崎地区の広告代理店との共同営業、低稼働率媒体の販売キャンペーンなどによる効果も微力ながらでてきております。

(ハ) 総務部総務課

売店事業の売上は39,419千円で、前年と比較して、37,848千円の減少(対前年比51.0%)となりました。

減収の原因は、不採算部門であった宝くじ販売(昨年売上高 34,549千円)を廃止したことです。

これを除くと、長崎売店の売上は、前年と比較して、3,300千円の減少(対前年比92.3%)となりました。

主な内訳は、タバコ1,508千円、土産物1,326千円、ジュース等591千円の売上減少が主な原因です。

自販機の売上は、222千円。(同比145千円の減少)(同比60.5%)となりました。

手荷物事業の売上は、5,749千円。(同比472千円の増加)(同比108.9%)となりました。

駐車場の売上は、6,327千円。(同比159千円の増加)(同比102.6%)となりました。